

(第三者の卵子を用いた体外受精)

精子	卵子	出産
夫	第三者	妻

Q16 妻以外（第三者）の女性から卵子の提供を受けて体外受精を行い、依頼した妻が子どもを妊娠、出産することについてどう思いますか。次のうちからひとつを選んでください（○はひとつ）。

1. 認めてよい 5.4% (13) → Q18へ
2. 条件付きで認めてよい 50.8%(123) → Q18へ
3. 認められない 39.3%(95) → Q17へ
4. わからない 4.5% (11) → Q24へ

Q17 Q16で「3. 認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつかを選んでください（○はいくつでも）。

- | | | | |
|-----------------------------------|-------|------|---------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 9.5% | (9) | } →Q24へ |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 2.1% | (2) | |
| 3. 卵子を提供する女性の健康に害がある可能性があるから | 43.2% | (41) | |
| 4. 家族（親子）関係が不自然になると思うから | 63.2% | (60) | |
| 5. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 64.2% | (61) | |
| 6. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 13.7% | (13) | |
| 7. 生まれた子どもが離婚する時、近親婚の可能性があるから | 31.6% | (30) | |
| 8. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 6.3% | (6) | |
| 9. 商業的に利用されると思うから | 57.9% | (55) | |
| 10. それ以外の理由（) | 10.5% | (10) | |
| 11. わからない | 0.0% | (0) | |

Q16で「1. 認めてよい」または「2. 条件付きで認めてよい」と答えた方は **Q18**～**Q23** にお答えください。

Q18 どういった場合に行うべきでしょうか。次のうちから選んでください（○はいくつでも）。

1. 妻が高齢のため妻の卵子では妊娠の可能性がない場合 66.2% (90)
2. 1以外で妻の卵子の利用が不可能の場合 94.1% (128)
3. それ以外の場合（) 3.7% (5)

Q19 卵子の提供者にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつを選んでください（○はひとつ）。

1. 妻の姉妹等の近親者を除く 10.4% (14)
2. 妻の姉妹等の近親者に限定する 11.9% (16)
3. 特に限定する必要はない 77.6% (104)

Q20 卵子の提供者は提供を受ける夫婦に対して匿名にすべきですか

1. 匿名にすべき 59.4%(79)
2. 匿名にすべきでない 14.3%(19)
3. どちらでもよい 26.3%(35)

Q21 一人の卵子提供者から出生する子どもの数を制限すべきですか。

1. 制限すべき 72.2%(96)
2. 制限しなくてよい 27.8%(37)

Q22 卵子提供者はすでに健康な子どものいるものに限定すべきですか

1. 限定すべき 30.4%(41)
2. 限定しなくてよい 69.6%(94)

Q23 卵子提供者は自分の夫の同意をとるべきですか。

1. とるべきである 78.5%(106)
2. とらなくてよい 21.5%(29)

Q24 親子関係を考えた場合、妻以外（第三者）の女性の卵子を用いて生まれた子どもをどうすべきでしょうか。次のうちからひとつを選んでください（○はひとつ）。

1. 夫と妻の夫子とする 72.5%(161)
2. 夫の夫子、妻の養子とする 8.6%(19)
3. 夫と妻の養子とする 0.9%(2)
4. その他 1.8%(4)
5. わからない 16.2%(36)

(第三者の受精卵を用いた胚移植)

受精卵：精子と卵子が合体したもの

精子	卵子	出産
第三者	第三者	妻

Q25 夫婦の両方の原因で子どもができない場合に、第三者から提供された精子と卵子からできた受精卵を夫婦が利用し妊娠、出産することについてどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|---------------|-------|-------|---------|
| 1. 認めてよい | 6.7% | (16) | → Q26 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 30.0% | (72) | → Q26 へ |
| 3. 認められない | 53.3% | (128) | → Q27 へ |
| 4. わからない | 10.0% | (24) | → Q28 へ |

Q26 Q25 で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。受精卵を提供する人にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|----------------------|-------|------|-----------|
| 1. 夫婦の兄弟姉妹等の近親者は除く | 11.6% | (10) | } → Q28 へ |
| 2. 夫婦の兄弟姉妹等の近親者に限定する | 11.6% | (10) | |
| 3. 特に限定する必要はない | 76.7% | (66) | |

Q27 Q25 で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 8.6% | (11) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 4.7% | (6) |
| 3. 卵子を提供する女性の健康に害がある可能性があるから | 27.3% | (35) |
| 4. 家族 (親子) 関係が不自然になると思うから | 57.8% | (74) |
| 5. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 55.5% | (71) |
| 6. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 7.0% | (9) |
| 7. 生まれた子どもが離婚する時、近親婚の可能性があるので | 26.6% | (34) |
| 8. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 7.0% | (9) |
| 9. 商業的に利用されると思うから | 57.0% | (73) |
| 10. それ以外の理由 () | 23.4% | (30) |
| 11. わからない | 0.0% | (0) |

Q28 親子関係を考えた場合、夫婦以外 (第三者) の受精卵を用いて生まれた子どもの法律上の親は誰にすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|----------------|-------|-------|
| 1. 依頼者夫婦の実子とする | 60.8% | (118) |
| 2. 依頼者夫婦の養子とする | 17.0% | (33) |
| 3. わからない | 22.2% | (43) |

(代理母)

精子	卵子	出産
夫	第三者	第三者

Q29 夫婦のうち、妻が卵巣と子宮を摘出したこと等により、妻の卵子が使用できず、かつ妻が妊娠できない場合に、夫の精子を妻以外の女性に人工授精しその女性に妊娠、出産してもらい、その子どもを依頼者夫婦の子どもとすることを代理母といいます。このような方法を用いて子どもをつくることをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|---------------|-------|-------|---------|
| 1. 認めてよい | 5.0% | (12) | → Q30 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 28.3% | (68) | → Q30 へ |
| 3. 認められない | 56.7% | (136) | → Q33 へ |
| 4. わからない | 10.0% | (24) | → Q34 へ |

Q29で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えの方は Q30～Q32 にお答えください。

Q30 代理母となる女性にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|-------|------|
| 1. 妻の姉妹等の近親者は除く | 11.3% | (9) |
| 2. 妻の姉妹等の近親者に限定する | 13.8% | (11) |
| 3. 特に限定する必要はない | 75.0% | (60) |

Q31 代理母となる女性は依頼者の夫婦に対して匿名にすべきですか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|------------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 匿名にすべき | 42.5%(34) | 2. 匿名にすべきでない | 28.8%(23) |
| 3. どちらでもよい | | 28.8%(23) | |

Q32 代理母となる女性が報酬を得て商業的に行うことを認めますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|----------------------------|-------|------|--------|
| 1. 報酬を得て商業的に行うことを認める | 16.7% | (13) | →Q34 へ |
| 2. 妊娠中の生活保証などの実費を得ることを認める | 59.0% | (46) | |
| 3. 妊娠、分娩等の医療費のみとし、その他は認めない | 20.5% | (16) | |
| 4. その他 () | 3.8% | (3) | |

Q33 Q29で「3.認められない」と答えられた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 4.4% | (6) |
| 2. 代理母となる女性の健康に害がある可能性があるから | 48.5% | (66) |
| 3. 家族(親子)関係が不自然になると思うから | 72.1% | (98) |
| 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 70.6% | (96) |
| 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 8.1% | (11) |
| 6. 生まれた子どもが離婚する時、近親婚の可能性があるので | 20.6% | (28) |
| 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 10.3% | (14) |
| 8. 商業的に利用されると思うから | 62.5% | (85) |
| 9. それ以外の理由 () | 8.1% | (11) |
| 10. わからない | 0.7% | (1) |

Q34 親子関係を考えた場合、このような代理母から生まれた子どもをどのようにすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|------------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼者夫婦の実子とする | 51.1% | (94) |
| 2. 依頼者の夫の実子、依頼者の妻の養子とする(出産した女性の実子) | 18.5% | (34) |
| 3. 出産した女性が養育している場合には、その夫婦の実子とする | 3.3% | (6) |
| 4. その他 () | 2.2% | (4) |
| 5. わからない | 25.0% | (46) |

(借り腹)

精子	卵子	出産
夫	妻	第三者

Q35 夫婦のうち、夫の精子と妻の卵子が使用できるが、子宮摘出等により妊娠できない場合に、夫の精子と妻の卵子を体外受精してできた受精卵を妻以外の女性の子宮に入れて、その女性に子どもを出産してもらうことを借り腹出産といいます。このような方法を用いて子どもをつくることをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|---------------|-------|-------|---------|
| 1. 認めてよい | 9.2% | (22) | → Q36 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 41.8% | (100) | → Q36 へ |
| 3. 認められない | 41.0% | (98) | → Q39 へ |
| 4. わからない | 7.9% | (19) | → Q40 へ |

Q35で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方は Q36～Q38 にお答え下さい。

Q36 借り腹出産をする女性にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|-------|------|
| 1. 妻の姉妹等の近親者に限定する | 25.4% | (30) |
| 2. 妻の姉妹等の近親者は除く | 15.3% | (18) |
| 3. それ以外の条件 () | 59.3% | (70) |

Q37 借り腹出産をする女性は依頼した夫婦に対して匿名にすべきですか。

- | | | | | | |
|-----------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|
| 1. 匿名にすべき | 34.7%(41) | 2. 匿名にすべきでない | 38.1%(45) | 3. どちらでもよい | 27.1%(32) |
|-----------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|

Q38 借り腹となる女性が報酬を得て商業的に行うことを認めますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|----------------------------|-----------|-----------|
| 1. 報酬を得て商業的に行うこと認める | 24.0%(29) | } → Q40 へ |
| 2. 妊娠中の生活補償などの実費を得ることのみ認める | 52.1%(63) | |
| 3. 妊娠、分娩等の医療費のみとし、その他は認めない | 20.7%(25) | |
| 4. その他 () | 3.3%(4) | |

Q39 Q35で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 4.1% | (4) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 5.1% | (5) |
| 3. 借り腹出産をする女性の健康に害がある可能性があるから | 64.3% | (63) |
| 4. 家族(親子)関係が不自然になると思うから | 71.4% | (70) |
| 5. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 68.4% | (67) |
| 6. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 8.2% | (8) |
| 7. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 9.2% | (9) |
| 8. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 14.3% | (14) |
| 9. 商業的に利用されると思うから | 67.3% | (66) |
| 10. それ以外の理由 () | 7.1% | (7) |
| 11. わからない | 1.0% | (1) |

Q40 親子関係を考えた場合、仮にこのような借り腹出産により生まれた子どもをどのようにすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|------------------------------------|-------|-------|
| 1. 依頼者夫婦の実子とする | 74.4% | (148) |
| 2. 依頼者の夫の実子、依頼者の妻の養子とする(出産した女性の実子) | 4.5% | (9) |
| 3. 出産した女性が婚姻している場合には、その夫婦の実子とする | 2.0% | (4) |
| 4. その他 () | 1.5% | (3) |
| 5. わからない | 17.6% | (35) |

①減数手術

Q41 減数手術についてどう思いますか。

- 1. 認めてよい 26.7% (63) → Q42 へ
- 2. 条件付きで認めてよい 61.9% (146) → Q42 へ
- 3. 認められない 8.1% (19) → Q43 へ
- 4. わからない 3.4% (8) → Q44 へ

Q42 Q41で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。実施する際、どのような条件が適当ですか。次のうち、その理由をいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- 1. 排卵誘発剤の使用法や体外受精で子宮に戻す卵の数を制限したがやむなく多胎になってしまった場合 81.8% (171)
- 2. 母体及び胎児への影響が特に深刻となるため4胎以上の場合に限って認める 50.7% (106)
- 3. 母体の健康を著しく害する恐れがない範囲でなるべく多くの胎児を残すべきである 40.2%(84)
- 4. 胎児を男女や障害の有無で選別しないこと 63.6% (133)
- 5. 減数手術について一定の規制がなされること 65.6%(137)
- 6. それ以外の条件 () 4.3% (9)

Q44 へ

Q43 Q41で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- 1. 技術的に安全性が確保されていないから 52.6% (10)
- 2. 他の胎児も死亡してしまう可能性があるから 52.6% (10)
- 3. 人為的に妊娠しながら胎児を減らすことは非倫理的だから 84.2% (16)
- 4. 墮胎罪に問われる可能性があるから 15.8% (3)
- 5. それ以外の理由 () 21.0% (4)
- 6. わからない 0.0% (0)

②商業利用

Q44 精子、卵子や受精卵の提供、他人から依頼されて出産すること（代理母、借り腹）を報酬を得て商業的に行うことについてどう思いますか。次の表の各々の技術について一つ選んでください（1～4のうち○はひとつ）。

	精子の提供	卵子の提供	受精卵の提供	代理母	借り腹
1. 認めてよい	1 10.0%(23)	1 7.0%(16)	1 5.7%(13)	1 5.2%(12)	1 7.0%(16)
2. 条件付きで認めてよい	2 29.3%(67)	2 24.0%(55)	2 15.3%(35)	2 14.8%(34)	2 22.6%(52)
3. 認められない	3 55.9%(128)	3 64.6%(148)	3 73.4%(168)	3 73.4%(168)	3 65.7%(151)
4. わからない	4 4.8%(11)	4 4.4%(10)	4 5.7%(13)	4 6.6%(15)	4 4.8%(11)

- * 「1.認めてよい」「条件付きで認めてよい」と答えた方 → Q44の続きへ
- 「3.認められない」「4.わからない」と答えた方 → Q47 へ

(Q44 の続き) さらに、各々の技術について「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。その下の表の各々の技術について適当なものをいくつか選んでください (1~5のうち○はいくつでも)。

→ Q47 へ

	精子の提供	卵子の提供	受精卵の提供	代理母	借り腹
1. 時間もとられ身体的負担もあるので当然の報酬だと思うから	1 60.0%(54)	1 74.6%(53)	1 66.7%(32)	1 76.1%(35)	1 73.5%(50)
2. 報酬が得られないと提供者が不足するから	2 43.3%(39)	2 42.3%(30)	2 45.8%(22)	2 43.5%(20)	2 33.8%(23)
3. 商業的に行われた方が親権など後のトラブルが少ないと思われるから	3 48.9%(44)	3 56.3%(40)	3 54.2%(26)	3 56.5%(26)	3 55.9%(38)
4. それ以外の理由	4 10.0%(9)	4 5.6%(4)	4 10.4%(5)	4 6.5%(3)	4 7.4%(5)
5. わからない	5 2.2%(2)	5 1.4%(1)	5 8.3%(4)	5 10.9%(5)	5 4.4%(3)

Q46 Q44 ですべての項目に「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつか選んでください (○はいくつでも)。

1. 精子や卵子など生命に起因するものを取り引きすべきでないから 33.6% (37)
2. 報酬を目的に卵を提供したり依頼されて代理出産することは、女性に身体的負担の点で好ましくないから 23.6% (26)
3. 報酬なく提供する人や代理出産をする人が減るから 1.8% (2)
4. 商業的に行われると医療としての質が低下するから 15.5% (17)
5. それ以外の理由 () 4.5% (5)
6. わからない 0.0% (0)

(親を知る権利)

Q47 夫婦以外の第三者による精子、卵子の提供や依頼されて代理出産すること等により、生まれた子どもが自分の産みの親や遺伝的な親を知る権利についてどう考えますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

1. 知らせるべきではない 26.1% (61) →Q50 へ
2. 成人したら知る権利がある 15.8% (37) →Q48 へ
3. 婚姻年齢 (男 18 歳以上、女 16 歳以上) に達したら知る権利がある 13.2% (31) →Q48 へ
4. いつでも知る権利がある 20.9% (49) →Q48 へ
5. そもそもこのような技術は認められない 17.5% (41) →Q50 へ
6. わからない 6.4% (15) →Q50 へ

Q47 で「2.成人したら知る権利がある」「3.婚姻年齢に達したら知る権利がある」「4.いつでも知る権利がある」と答えた方は Q48 ~ Q49 にお答えください。

Q48 仮に、子どもに自分の生まれた時の状況や遺伝的な親を知る権利があるとした場合、法律上の親の同意が必要ですか。次のうちひとつ選んでください (○はひとつ)。

1. 年齢を問わず親の同意が必要 14.7%(17)
2. 親の同意は必要ない 44.6%(51)
3. 未成年者については親の同意が必要 38.8%(45)
4. わからない 2.6%(3)

Q49 子どもに自分の生まれた時の状況や遺伝的な親を知る権利があるとした場合、どのような内容を知らせるべきだと思いますか。次のうち、その理由をいくつか選んでください (○はいくつでも)。

1. 内容に特に制限は設けない 60.7% (71)
2. 遺伝的両親の情報はすべて教える 13.7% (16)
3. 遺伝的両親の医学的・遺伝的情報に限定する 30.8% (36)
4. 同じ精子、卵子を用いて出産した子どもの数 6.0% (7)
5. その他 () 1.7% (2)

(規制の方法)

Q50 生殖補助医療技術について一定の規則や制限を設ける必要があると思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

1. 必要がある 91.1%(215) 2. 必要がない 6.4%(15) 3. わからない 2.5%(6)

(生殖補助医療技術の安全性)

Q51 次の生殖補助医療技術はすでに、安全性が確立されていると思いますか。表の 1)~5)のそれぞれの技術について、適当なものを選んでください (○は1~3 のひとつ)。

	1. 安全である	2. 安全とはいえない	3. わからない
1)人工授精	1 94.2%(228)	2 4.1%(10)	3 1.7%(4)
2)体外受精	1 78.5%(190)	2 19.0%(46)	3 2.5%(6)
3)顕微授精	1 51.9%(125)	2 32.4%(78)	3 15.8%(38)
4)顕微授精における円形精子細胞の利用	1 8.3%(20)	2 49.6%(120)	3 42.1%(102)
5)減数手術	1 36.9%(89)	2 46.5%(112)	3 16.6%(40)

(実施施設)

Q52 人工授精、体外受精の実施施設について、どのように考えますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

1. 身近な診療所等、できるだけ多くの施設で実施できるようにすべき 7.1% (17)
 2. 学会等による登録制度を設けて医師が自主的に質の向上を図るべき 70.1% (169)
 3. 国が一定の基準を設定する登録制度、許可制度により限定すべき 20.7% (50)
 4. わからない 2.1% (5)

Q53 最後にお伺いします。あなたはまたはあなたの配偶者が不妊治療を受けたことがありますか。次の表の各々の技術について適当なものをいくつでも選んでください (1~6のうち○はいくつでも)。

	排卵誘発剤の使用	人工授精	体外受精	その他の不妊治療
1.受けたことがない	(60)	(72)	(74)	(72)
1-1.受ける予定がある	1	1	1	1
1-2.受けたい	2	2	2	2
1-3.受けるかどうか迷っている	3	3	3	3
1-4.受けたいとは思わない	4	4	4	4
2.過去に受けたことがある	5 (26)	5 (8)	5 (2)	5 (6)
3.不妊治療により子どもが生まれた	6 (13)	6 (4)	6 (3)	6 (6)
4.現在治療をうけている	7 (4)	7 (1)	7 (2)	7 (1)
回答なし	(140)	(158)	(162)	(158)

Q54 その他、ご意見がありましたら記載してください。

ご協力ありがとうございました。

II.調査結果

(5) 他の産婦人科医

(5) 他の産婦人科医 (他の産婦人科医用—ブルー)

配付数 399 (郵送法)

回収数 166

回収率 41.6%

単純集計 百分率 (実数)

重複回答の場合選択肢の百分率の合計は100にはならない。

- 1 性別 ; 1. 男 84.8% (140)
2. 女 15.2% (25)
- 2 年齢 ; ____ 歳
20 歳代 5.9% (11)
30 歳代 31.4% (58)
40 歳代 24.3% (45)
50 歳代 14.1% (26)
60 歳代 12.4% (23)
70 歳代 11.9% (22)
- 3 婚姻の有無 ; 1. 未婚 2. 既婚 (結婚してからの年数__年) 3. 事実婚 4. 離別 5. 死別
5.5% 90.2% 0.0% 2.4% 1.8%
(9) (148) (0) (4) (3)
- 4 子どもの数 ; 1. 有り (人) 87.8% (144) 1人 16.0% (23)
2人 48.6% (70)
3人 28.5% (41)
4人 6.9% (10)
2. 無し 12.2% (20) 2-1. 子どもがほしい 37.5% (6)
2-2. 子どもはほしくない 0.0% (0)
2-3. どちらでもかまわない 43.8% (7)
2-4. 特に考えていない 18.8% (3)
- 5 あなたの勤務先はどちらですか。
1. 一般診療所 49.7% (79)
2. 不妊専門クリニック 1.9% (3)
3. 100床未満の病院 11.3% (18)
4. 100~300床未満の病院 11.3% (18)
5. 300床以上の病院 14.5% (23)
6. 大学付属病院 11.3% (18)
- 6 貴院で可能な管理はどれですか。いくつでも選んでください (○はいくつでも)。
1. 妊婦管理 93.4% (155)
2. 分娩管理 73.5% (122)
3. 新生児管理 65.1% (108)
4. NICU 管理 16.3% (27)

7 貴院では次の医療を行っていますか。次のうち該当するものに○をつけてください。

1. 人工授精 71.1%(120)

1-1. AIH のみ 94.9% (112)

1-2. AIH と AID の両方 5.1% (6)

2. 体外受精 18.7%(33)

2-1. 夫婦間のみ 100.0% (31)

2-2. 非夫婦間も含めて 0.0% (0)

3. 顕微授精 14.5%(21)

3-1. 射出精子のみを用いている 57.1% (12)

3-2. 精巣上体精子や精巣内精子も用いている 57.1% (12)

3-3. 円形精子細胞も用いている 0.0% (0)

4. 1～3 の医療を全く行っていない 20.5%(37)

4-1. 当面、行う予定はない 73.5% (25)

4-2. 将来的には行う予定 5.9% (2)

4-3. 行うかどうかは未定 20.6% (7)

8 貴院は日本産婦人科学会に体外受精の実施登録を行っていますか。

1. 登録している 20.8% (33)

2. 登録していない 79.2% (126)

(生殖補助医療技術の是非)

Q1 人の生殖に人工的な介入（人工授精や体外受精、顕微授精など）を加えることについてどう考えますか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- | | | |
|---------------|-------|-------|
| 1. 認めてよい | 29.3% | (46) |
| 2. 条件付きで認めてよい | 66.2% | (104) |
| 3. 認められない | 3.9% | (6) |
| 4. わからない | 0.6% | (1) |

(技術の適応)

Q2 人工授精（精子を子宮内に注入すること。AIH：夫の精子を使用、AID：夫以外の精子を使用）、体外受精（女性のからだから卵子を採取し、その卵子を精子と体外で受精させ、その受精卵を子宮内に移植すること。）は患者がどのような場合に実施されるべきでしょうか。次の表の各々の技術（AIH、AID、体外受精）について、ひとつ選んでください（1～5のうち○はひとつ）。

	AIH	AID	体外受精
1. 希望すれば誰にでも実施してよい	1 44.6%(66)	1 3.0%(4)	1 10.9%(15)
2. 他に効果的な方法がない者に限定すべき	2 53.4%(79)	2 51.9%(69)	2 81.0%(111)
3. どちらともいえない	3 0.7%(1)	3 9.8%(13)	3 2.9%(4)
4. そもそもこうした技術は認めるべきではない	4 0.7%(1)	4 28.6%(38)	4 4.4%(6)
5. わからない	5 0.7%(1)	5 6.8%(9)	5 0.7%(1)

(対象者)

Q3 人工授精（AIH、AID）、体外受精の対象者として適当なのは誰でしょうか。次の表の各々の技術（AIH、AID、体外受精）について適当なものをいくつでも選んでください（1～6のうち○はいくつでも）。

	AIH	AID	体外受精
1. 婚姻届を提出した夫婦	1 81.3%(135)	1 39.8%(66)	1 69.9%(116)
2. 婚姻届は提出していないが事実上夫婦関係にあるカップル	2 41.6%(69)	2 15.7%(26)	2 33.7%(56)
3. 独身者		3 4.2%(7)	3 4.2%(7)
4. 自然に妊娠する可能性のない高齢者夫婦	4 22.3%(37)	4 14.5%(24)	4 22.9%(38)
5. そもそもこうした技術は認めるべきではない	5 1.8%(3)	5 24.7%(41)	5 5.4%(9)
6. その他（同性同士等）	6 1.2%(2)	6 1.8%(3)	6 0.6%(1)

(第三者の精子を用いた人工授精：AID)

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q4 夫以外（第三者）の男性から精子の提供を受けて人工授精を行い妊娠、出産することをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- | | | | |
|---------------|-------|------|--------|
| 1. 認めてよい | 4.8% | (8) | → Q5 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 50.6% | (84) | → Q5 へ |
| 3. 認められない | 37.4% | (62) | → Q6 へ |
| 4. わからない | 7.2% | (12) | → Q7 へ |

Q5 Q4 で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。夫がどのような場合に行うべきでしょうか。次のうちから選んでください（○はいくつでも）。

- | | | | |
|-----------------|-------|------|----------|
| 1. 夫が無精子症の場合 | 94.6% | (87) | } → Q7 へ |
| 2. 夫の精子に異常がある場合 | 76.1% | (70) | |
| 3. それ以外の場合（ ） | 6.5% | (6) | |

Q6 Q4 で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 4.8% | (3) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 3.2% | (2) |
| 3. 家族（親子）関係が不自然になると思うから | 71.0% | (44) |
| 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 66.1% | (41) |
| 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 37.1% | (23) |
| 6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 53.2% | (33) |
| 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 1.6% | (1) |
| 8. 商業的に利用されると思うから | 48.4% | (30) |
| 9. それ以外の理由（ ） | 11.3% | (7) |
| 10. わからない | 0.0% | (0) |

(第三者の精子を用いた体外受精)

精子	卵子	出産
第三者	妻	妻

Q7 夫以外（第三者）の男性から精子の提供を受けて体外受精を行い妊娠、出産することをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

1. 認めてよい 5.6% (9) → Q9 へ
2. 条件付きで認めてよい 47.5% (77) → Q9 へ
3. 認められない 38.9% (63) → Q8 へ
4. わからない 8.0% (13) ↗ Q4で「1.認めてよい、2.条件付きで認める」と答えた方 → Q10 へ
↘ Q4で「3.認められない、4.わからない」と答えた方 → Q15 へ

Q8 Q7で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから 6.3% (4)
2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから 7.9% (5)
3. 家族（親子）関係が不自然になると思うから 71.4% (45)
4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから 68.3% (43)
5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから 41.3% (26)
6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので 54.0% (34)
7. 時間的、金銭的に負担が大きいから 7.9% (5)
8. 商業的に利用されると思うから 58.7% (37)
9. それ以外の理由（ ） 9.5% (6)
10. わからない 0.0% (0)

*Q4で「1.認めてよい、2.条件付きで認めてよい」と答えた方 → Q10 へ
Q4で「3.認められない、4.わからない」と答えた方 → Q15 へ

Q9 Q7で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。夫がどのような場合に行うべきでしょうか。次のうちから選んでください（○はいくつでも）。

1. 夫が無精子症の場合 91.9% (79)
2. 夫の精子に異常がある場合 69.8% (60)
3. それ以外の場合（ ） 7.0% (6)

Q4またはQ7で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方は **Q10**～**Q14** にお答え下さい。

Q10 精子の提供者にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

1. 夫の兄弟等の近親者を除く 24.1% (21)
2. 夫の兄弟等の近親者に限定する 12.6% (11)
3. 特に限定する必要はない 63.2% (55)

Q11 精子の提供者は提供を依頼した夫婦に対して匿名にすべきですか

1. 匿名にすべき 73.6%(64)
2. 匿名にすべきでない 13.8%(12)
3. どちらでもよい 12.6%(11)

Q12 一人の精子提供者から出生する子どもの数を制限すべきですか。

1. 制限すべき 65.2%(58)
2. 制限しなくてよい 34.8%(31)

Q13 精子提供者はすでに健康な子どもがいる者に限定すべきですか。

1. 限定すべき 24.7%(22)
2. 限定しなくてよい 75.3%(67)

Q14 精子提供者は自分の妻の同意をとるべきですか。

1. とるべきである 69.3%(61)
2. とらなくてよい 30.7%(27)

Q15 親子関係を考えた場合、夫以外（第三者）の男性の精子を用いて AID または体外受精を行い、生まれた子どもをどのようにすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

1. 夫と妻の実子とする 69.3%(97)
2. 夫の養子、妻の実子とする 12.9%(18)
3. 夫と妻の養子とする 3.6%(5)
4. その他 2.9%(4)
5. わからない 11.4%(16)

(第三者の卵子を用いた体外受精)

精子	卵子	出産
夫	第三者	妻

Q16 妻以外（第三者）の女性から卵子の提供を受けて体外受精を行い、依頼した妻が子どもを妊娠、出産することについてどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- | | | | |
|---------------|-------|------|--------|
| 1. 認めてよい | 5.6% | (9) | → Q18へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 39.5% | (64) | → Q18へ |
| 3. 認められない | 42.6% | (69) | → Q17へ |
| 4. わからない | 12.3% | (20) | → Q24へ |

Q17 Q16で「3. 認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください（○はいくつでも）。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 11.6% | (8) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 8.7% | (6) |
| 3. 卵子を提供する女性の健康に害がある可能性があるから | 27.5% | (19) |
| 4. 家族（親子）関係が不自然になると思うから | 68.1% | (47) |
| 5. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 66.7% | (46) |
| 6. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 39.1% | (27) |
| 7. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 46.4% | (32) |
| 8. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 7.2% | (5) |
| 9. 商業的に利用されると思うから | 53.6% | (37) |
| 10. それ以外の理由（) | 11.6% | (8) |
| 11. わからない | 1.4% | (1) |

→Q24へ

Q16で「1. 認めてよい」または「2. 条件付きで認めてよい」と答えた方は **Q18**～**Q23** にお答えください。

Q18 どういった場合に行うべきでしょうか。次のうちから選んでください（○はいくつでも）。

- | | | |
|-----------------------------|-------|------|
| 1. 妻が高齢のため妻の卵子では妊娠の可能性がない場合 | 53.4% | (39) |
| 2. 1以外で妻の卵子の利用が不可能の場合 | 87.7% | (64) |
| 3. それ以外の場合（) | 2.7% | (2) |

Q19 卵子の提供者にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- | | | |
|-------------------|-------|------|
| 1. 妻の姉妹等の近親者を除く | 13.7% | (10) |
| 2. 妻の姉妹等の近親者に限定する | 17.8% | (13) |
| 3. 特に限定する必要はない | 68.5% | (50) |

Q20 卵子の提供者は提供を受ける夫婦に対して匿名にすべきですか

- | | | |
|---------------------|------------------------|----------------------|
| 1. 匿名にすべき 63.0%(46) | 2. 匿名にすべきでない 20.5%(15) | 3. どちらでもよい 16.4%(12) |
|---------------------|------------------------|----------------------|

Q21 一人の卵子提供者から出生する子どもの数を制限すべきですか。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 制限すべき 64.4%(47) | 2. 制限しなくてよい 35.6%(26) |
|--------------------|-----------------------|

Q22 卵子提供者はすでに健康な子どものいるものに限定すべきですか

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 限定すべき 34.2%(25) | 2. 限定しなくてよい 65.8%(48) |
|--------------------|-----------------------|

Q23 卵子提供者は自分の夫の同意をとるべきですか。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. とるべきである 76.4%(55) | 2. とらなくてよい 23.6%(17) |
|----------------------|----------------------|

Q24 親子関係を考えた場合、妻以外（第三者）の女性の卵子を用いて生まれた子どもをどうすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください（○はひとつ）。

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 夫と妻の実子とする 64.6%(93) | 2. 夫の実子、妻の養子とする 11.8%(17) |
| 3. 夫と妻の養子とする 3.5%(5) | 4. その他 2.1%(3) |
| | 5. わからない 18.1%(26) |

(第三者の受精卵を用いた胚移植)

受精卵：精子と卵子が合体したもの

精子	卵子	出産
第三者	第三者	妻

Q25 夫婦の両方の原因で子どもができない場合に、第三者から提供された精子と卵子からできた受精卵を夫婦が利用し妊娠、出産することについてどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|---------------|-------|------|---------|
| 1. 認めてよい | 6.2% | (10) | → Q26 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 20.4% | (33) | → Q26 へ |
| 3. 認められない | 59.3% | (96) | → Q27 へ |
| 4. わからない | 14.2% | (23) | → Q28 へ |

Q26 Q25 で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。受精卵を提供する人にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|----------------------|-------|------|---------|
| 1. 夫婦の兄弟姉妹等の近親者は除く | 18.6% | (8) | → Q28 へ |
| 2. 夫婦の兄弟姉妹等の近親者に限定する | 14.0% | (6) | |
| 3. 特に限定する必要はない | 67.4% | (29) | |

Q27 Q25 で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 9.4% | (9) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 7.3% | (7) |
| 3. 卵子を提供する女性の健康に害がある可能性があるから | 21.9% | (21) |
| 4. 家族（親子）関係が不自然になると思うから | 70.8% | (68) |
| 5. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 65.6% | (63) |
| 6. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 32.3% | (31) |
| 7. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるから | 40.6% | (39) |
| 8. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 7.3% | (7) |
| 9. 商業的に利用されると思うから | 55.2% | (53) |
| 10. それ以外の理由 () | 11.5% | (11) |
| 11. わからない | 0.0% | (0) |

Q28 親子関係を考えた場合、夫婦以外（第三者）の受精卵を用いて生まれた子どもの法律上の親は誰にすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|----------------|-------|------|
| 1. 依頼者夫婦の実子とする | 47.2% | (60) |
| 2. 依頼者夫婦の養子とする | 26.8% | (34) |
| 3. わからない | 26.0% | (33) |

(代理母)

精子	卵子	出産
夫	第三者	第三者

Q29 夫婦のうち、妻が卵巣と子宮を摘出したこと等により、妻の卵子が使用できず、かつ妻が妊娠できない場合に、夫の精子を妻以外の女性に人工授精しその女性に妊娠、出産してもらい、その子どもを依頼者夫婦の子どもとすることを代理母といいます。このような方法を用いて子どもをつくることをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|---------------|-------|------|--------|
| 1. 認めてよい | 3.0% | (5) | → Q30へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 26.2% | (43) | → Q30へ |
| 3. 認められない | 60.4% | (99) | → Q33へ |
| 4. わからない | 10.4% | (17) | → Q34へ |

Q29で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方は Q30～Q32 にお答えください。

Q30 代理母となる女性にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|-------|------|
| 1. 妻の姉妹等の近親者は除く | 10.4% | (5) |
| 2. 妻の姉妹等の近親者に限定する | 16.7% | (8) |
| 3. 特に限定する必要はない | 72.9% | (35) |

Q31 代理母となる女性は依頼者の夫婦に対して匿名にすべきですか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | | | |
|-----------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|
| 1. 匿名にすべき | 44.7%(21) | 2. 匿名にすべきでない | 34.0%(16) | 3. どちらでもよい | 21.3%(10) |
|-----------|-----------|--------------|-----------|------------|-----------|

Q32 代理母となる女性が報酬を得て商業的に行うことを認めますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|----------------------------|-------|------|----------|
| 1. 報酬を得て商業的に行うことを認める | 14.6% | (7) | } → Q34へ |
| 2. 妊娠中の生活保証などの実費を得ることを認める | 64.6% | (31) | |
| 3. 妊娠、分娩等の医療費のみとし、その他は認めない | 20.8% | (10) | |
| 4. その他 () | 0.0% | (0) | |

Q33 Q29で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 7.1% | (7) |
| 2. 代理母となる女性の健康に害がある可能性があるから | 33.3% | (33) |
| 3. 家族(親子)関係が不自然になると思うから | 74.7% | (74) |
| 4. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 69.7% | (69) |
| 5. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 36.4% | (36) |
| 6. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 39.7% | (39) |
| 7. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 15.2% | (15) |
| 8. 商業的に利用されると思うから | 54.5% | (54) |
| 9. それ以外の理由 () | 9.1% | (9) |
| 10. わからない | 1.0% | (1) |

Q34 親子関係を考えた場合、このような代理母から生まれた子どもをどのようにすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|------------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼者夫婦の実子とする | 41.1% | (53) |
| 2. 依頼者の夫の実子、依頼者の妻の養子とする(出産した女性の実子) | 21.7% | (28) |
| 3. 出産した女性が婚姻している場合には、その夫婦の実子とする | 2.3% | (3) |
| 4. その他 () | 4.7% | (6) |
| 5. わからない | 30.2% | (39) |

(借り腹)

精子	卵子	出産
夫	妻	第三者

Q35 夫婦のうち、夫の精子と妻の卵子が使用できるが、子宮摘出等により妊娠できない場合に、夫の精子と妻の卵子を体外受精してできた受精卵を妻以外の女性の子宮に入れて、その女性に子どもを出産してもらうことを借り腹出産といいます。このような方法を用いて子どもをつくることをどう思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|---------------|-------|------|---------|
| 1. 認めてよい | 6.3% | (10) | → Q36 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 39.4% | (63) | → Q36 へ |
| 3. 認められない | 42.5% | (68) | → Q39 へ |
| 4. わからない | 11.9% | (19) | → Q40 へ |

Q35で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方は Q36～Q38 にお答え下さい。

Q36 借り腹出産をする女性にはどのような条件が必要でしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|-------------------|-------|------|
| 1. 妻の姉妹等の近親者に限定する | 31.5% | (23) |
| 2. 妻の姉妹等の近親者は除く | 28.8% | (21) |
| 3. それ以外の条件 () | 39.7% | (29) |

Q37 借り腹出産をする女性は依頼した夫婦に対して匿名にすべきですか。

- | | | |
|---------------------|------------------------|----------------------|
| 1. 匿名にすべき 39.7%(29) | 2. 匿名にすべきでない 34.2%(25) | 3. どちらでもよい 26.0%(19) |
|---------------------|------------------------|----------------------|

Q38 借り腹となる女性が報酬を得て商業的に行うことを認めますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | | |
|----------------------------|-------|------|-----------|
| 1. 報酬を得て商業的に行うこと認める | 18.1% | (13) | } → Q40 へ |
| 2. 妊娠中の生活補償などの実費を得ることのみ認める | 61.1% | (44) | |
| 3. 妊娠、分娩等の医療費のみとし、その他は認めない | 18.1% | (13) | |
| 4. その他 () | 2.8% | (2) | |

Q39 Q35で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください (○はいくつでも)。

- | | | |
|-----------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼した妻の健康に害がある可能性があるから | 7.4% | (5) |
| 2. 生まれてくる子どもの健康に害がある可能性があるから | 13.2% | (9) |
| 3. 借り腹出産をする女性の健康に害がある可能性があるから | 39.7% | (27) |
| 4. 家族(親子)関係が不自然になると思うから | 67.6% | (46) |
| 5. 親権や遺産相続などいろいろなトラブルが生じる可能性があるから | 54.4% | (37) |
| 6. 妊娠はあくまで自然になされるべきだと思うから | 42.6% | (29) |
| 7. 生まれた子どもが結婚する時、近親婚の可能性があるので | 22.1% | (15) |
| 8. 時間的、金銭的に負担が大きいから | 14.7% | (10) |
| 9. 商業的に利用されると思うから | 63.2% | (43) |
| 10. それ以外の理由 () | 8.8% | (6) |
| 11. わからない | 1.5% | (1) |

Q40 親子関係を考えて場合、仮にこのような借り腹出産により生まれた子どもをどのようにすべきでしょうか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

- | | | |
|------------------------------------|-------|------|
| 1. 依頼者夫婦の実子とする | 65.2% | (88) |
| 2. 依頼者の夫の実子、依頼者の妻の養子とする(出産した女性の実子) | 4.4% | (6) |
| 3. 出産した女性が婚姻している場合には、その夫婦の実子とする | 3.0% | (4) |
| 4. その他 () | 3.0% | (4) |
| 5. わからない | 24.4% | (33) |

(減数手術)

Q41 減数手術についてどう思いますか。

- | | | | | |
|---------------|-------|------|---|-------|
| 1. 認めてよい | 18.4% | (30) | → | Q42 へ |
| 2. 条件付きで認めてよい | 54.6% | (89) | → | Q42 へ |
| 3. 認められない | 19.6% | (32) | → | Q43 へ |
| 4. わからない | 7.4% | (12) | → | Q44 へ |

Q42 Q41で「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。実施する際、どのような条件が適当ですか。次のうち、その理由をいくつでも選んでください(○はいくつでも)。

- | | |
|---|-----------|
| 1. 排卵誘発剤の使用方法や体外受精で子宮に戻す卵の数を制限したかやむなく多胎になってしまった場合 | 71.4%(85) |
| 2. 母体及び胎児への影響が特に深刻となるため4胎以上の場合に限って認める | 41.2%(49) |
| 3. 母体の健康を著しく害する恐れがない範囲でなるべく多くの胎児を残すべきである | 42.0%(50) |
| 4. 胎児を男女や障害の有無で選別しないこと | 52.1%(62) |
| 5. 減数手術について一定の規制がなされること | 56.3%(67) |
| 6. それ以外の条件 () | 5.0% (6) |

Q44 へ

Q43 Q41で「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください(○はいくつでも)。

- | | | |
|-------------------------------|-------|------|
| 1. 技術的に安全性が確保されていないから | 62.5% | (20) |
| 2. 他の胎児も死亡してしまう可能性があるから | 56.3% | (18) |
| 3. 人為的に妊娠しながら胎児を減らすことは非倫理的だから | 75.0% | (24) |
| 4. 堕胎罪に問われる可能性があるから | 31.3% | (10) |
| 5. それ以外の理由 () | 9.4% | (3) |
| 6. わからない | 6.3% | (2) |

(商業利用)

Q44 精子、卵子や受精卵の提供、他人から依頼されて出産すること(代理母、借り腹)を報酬を得て商業的に行うことについてどう思いますか。次の表の各々の技術について一つ選んでください(1~4のうち○はひとつ)。

	精子の提供	卵子の提供	受精卵の提供	代理母	借り腹
1. 認めてよい	1 6.6%(9)	1 5.2%(7)	1 2.2%(3)	1 1.5%(2)	1 3.7%(5)
2. 条件付きで認めてよい	2 23.5%(32)	2 20.1%(27)	2 18.5%(25)	2 20.1%(27)	2 24.4%(33)
3. 認められない	3 64.7%(88)	3 70.1%(94)	3 74.1%(100)	3 73.1%(98)	3 66.7%(90)
4. わからない	4 5.1%(7)	4 4.5%(6)	4 5.2%(7)	4 5.2%(7)	4 5.2%(7)

- | | | |
|------------------------------|---|---------|
| * 「1.認めてよい」「条件付きで認めてよい」と答えた方 | → | Q44の続きへ |
| 「3.認められない」「4.わからない」と答えた方 | → | Q47 へ |

(Q44の続き) さらに、各々の技術について「1.認めてよい」または「2.条件付きで認めてよい」と答えた方にうかがいます。その下の表の各々の技術について適当なものをいくつでも選んでください(1~5のうち○はいくつでも)。

→ Q47へ

	精子の提供	卵子の提供	受精卵の提供	代理母	借り腹
1. 時間もとられ身体的負担もあるので当然の報酬だと思うから	1 48.8%(20)	1 58.8%(20)	1 53.6%(15)	1 69.0%(20)	1 73.7%(28)
2. 報酬が得られないと提供者が不足するから	2 34.1%(14)	2 32.4%(11)	2 32.1%(9)	2 27.6%(8)	2 18.4%(7)
3. 商業的に行われた方が親権など後のトラブルが少ないと思われるから	3 36.6%(15)	3 41.2%(14)	3 42.9%(12)	3 37.9%(11)	3 36.8%(14)
4. それ以外の理由	4 2.4%(1)	4 2.9%(1)	4 3.6%(1)	4 6.9%(2)	4 5.3%(2)
5. わからない	5 2.4%(1)	5 2.9%(1)	5 7.1%(2)	5 6.9%(2)	5 5.3%(2)

Q46 Q44ですべての項目に「3.認められない」と答えた方にうかがいます。次のうち、その理由をいくつでも選んでください(○はいくつでも)。

1. 精子や卵子など生命に起因するものを取り引きすべきでないから 44.2% (34)
2. 報酬を目的に卵を提供したり依頼されて代理出産することは、女性に身体的負担の点で好ましくないから 19.5% (15)
3. 報酬なく提供する人や代理出産をする人が減るから 2.6% (2)
4. 商業的に行われると医療としての質が低下するから 16.9% (13)
5. それ以外の理由 () 6.5% (5)
6. わからない 3.9% (3)

(親を知る権利)

Q47 夫婦以外の第三者による精子、卵子の提供や依頼されて代理出産すること等により、生まれた子どもが自分の産みの親や遺伝的な親を知る権利についてどう考えますか。次のうちからひとつ選んでください(○はひとつ)。

1. 知らせるべきではない 28.4% (46)→Q50へ
2. 成人したら知る権利がある 13.0% (21)→Q48へ
3. 婚姻年齢(男 18歳以上、女 16歳以上)に達したら知る権利がある 10.5% (17)→Q48へ
4. いつでも知る権利がある 14.2% (23)→Q48へ
5. そもそもこのような技術は認められない 25.3% (41)→Q50へ
6. わからない 8.6% (14)→Q50へ

Q47で「2.成人したら知る権利がある」「3.婚姻年齢に達したら知る権利がある」「4.いつでも知る権利がある」と答えた方は Q48～Q49にお答えください。

Q48 仮に、子どもに自分の生まれた時の状況や遺伝的な親を知る権利があるとした場合、法律上の親の同意が必要ですか。次のうちひとつ選んでください(○はひとつ)。

1. 年齢を問わず親の同意が必要 27.1%(16)
2. 親の同意は必要ない 27.1%(16)
3. 未成年者については親の同意が必要 44.1%(21)
4. わからない 1.7%(1)

Q49 子どもに自分の生まれた時の状況や遺伝的な親を知る権利があるとした場合、どのような内容を知らせるべきだと思いますか。次のうち、その理由をいくつでも選んでください(○はいくつでも)。

1. 内容に特に制限は設けない 57.4% (35)
2. 遺伝的両親の情報はすべて教える 18.0% (11)
3. 遺伝的両親の医学的・遺伝的情報に限定する 37.7% (23)
4. 同じ精子、卵子を用いて出産した子どもの数 13.1% (8)
5. その他 () 1.6% (1)

Q50 生殖補助医療技術について一定の規則や制限を設ける必要があると思いますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

1. 必要がある 94.5%(154) 2. 必要がない 1.8%(3) 3. わからない 3.7%(6)

(生殖補助医療技術の安全性)

Q51 次の生殖補助医療技術はすでに、安全性が確立されていると思いますか。表の 1)~5)のそれぞれの技術について、適当なものを選んでください (○は1~3のひとつ)。

	1. 安全である	2. 安全とはいえない	3. わからない
1)人工授精	1 87.3%(138)	2 8.2%(13)	3 4.4%(7)
2)体外受精	1 50.7%(76)	2 35.3%(53)	3 14.0%(21)
3)顕微授精	1 28.5%(43)	2 41.7%(63)	3 29.8%(45)
4)顕微授精における円形精子細胞の利用	1 8.2%(12)	2 47.9%(70)	3 43.8%(64)
5)減数手術	1 13.0%(19)	2 61.0%(89)	3 26.0%(38)

Q52 人工授精、体外受精の実施施設について、どのように考えますか。次のうちからひとつ選んでください (○はひとつ)。

1. 身近な診療所等、できるだけ多くの施設で実施できるようにすべき 11.3% (18)
2. 学会等による登録制度を設けて医師が自主的に質の向上を図るべき 50.3% (80)
3. 国が一定の基準を設定する登録制度、許可制度により限定すべき 30.2% (48)
4. わからない 8.2% (13)

Q53 最後にお伺いします。あなたはまたはあなたの配偶者が不妊治療を受けたことがありますか。次の表の各々の技術について適当なものをいくつでも選んでください (1~6のうち○はいくつでも)。

	排卵誘発剤の使用	人工授精	体外受精	その他の不妊治療
1.受けたことがない	(50)	(58)	(58)	(58)
1-1.受ける予定がある	1	1	1	1
1-2.受けたい	2	2	2	2
1-3.受けるかどうか迷っている	3	3	3	3
1-4.受けたいとは思わない	4	4	4	4
2.過去に受けたことがある	5 (12)	5 (2)	5 (1)	5 (2)
3.不妊治療により子どもが生まれた	6 (6)	6 (1)	6 (1)	6 (1)
4.現在治療をうけている	7 (0)	7 (0)	7 (0)	7 (0)
回答なし	(98)	(104)	(106)	(105)

Q54 その他、ご意見がありましたら記載してください。

ご協力ありがとうございました。